



9月1日より、呼吸器内科に新しい医師が着任しました。

呼吸器内科 医員

安藤 英治 (あんどう えいじ)

出身大学	所属学会
産業医科大学(2014年 卒業)	・日本内科学会 ・日本呼吸器学会 ・日本呼吸器内視鏡学会
専門分野	
▶ 呼吸器内科疾患	
資格	
・日本内科学会:認定内科医 ・日本内科学会:JMECCインストラクター	・日本がん治療認定医機構:認定医

松波総合病院
「呼吸器内科 診療科ページ」



安藤 英治医師からの
メッセージ

2022年9月より呼吸器内科に入職しました。

今までは呼吸器内科疾患を中心に臨床経験を積んできました。当院でも呼吸器内科診療を中心に研鑽を積み、地域医療に貢献していきたいと思っています。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

今後とも職員一同協力し、質の高い医療・福祉を提供してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

次のページは、「大動脈弁狭窄症」について

Matsunami Information

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施設について



発熱症状で
受診される方へ

来院前に
ご確認ください



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

当院の柔道部発足に伴い、柔道の練習会を開催しています。柔道経験者だけでなく、未経験の方でも一からご指導します。女性の方には、護身術をお教えいたします。

右記の日程・場所で行っておりますので、ご家族・ご友人などお誘い合わせのうえ、参加される方は、右記の連絡先に事前申し込みをお願いします。

日時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場所	笠松中央公民館 1階 多目的室 柔道場
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

松波総合病院特別講演会「高齢者医療と総合診療」

事前申込が必要です。
右のQRコードより、詳細をご確認の上、お申し込みください。

講師 元信州大学副学長、元医学部部長、元第三内科教授
いけだ内科・脳神経内科クリニック 院長 池田 修一 先生

日時 2022年10月15日 14時00分～15時30分
場所 松波総合病院 東エクステンション棟 2階



柔道部からのお知らせ

8月21日(日)に開催された「国民体育大会第43回東海ブロック」にて当院の森部 真於選手が岐阜女子チームの次鋒として出場し、東海ブロックを2位通過しました。この大会結果により本戦(とちぎ国体)への出場枠を獲得しました。



下の段の中央 森部 真於選手 ▲

8月27日(土)、28日(日)に開催された「第52回 全日本実業柔道個人選手権大会」にて、下記の結果となりました。

男子60kg級	西 祐隼(業務部) ベスト16
男子66kg級	杉浦 冬唯(業務部) 準優勝
女子70kg級	サリナスリョウコ(医事課) ベスト8

10月29、30日開催
講道館杯全日本体重別選手権大会
(オリンピック代表第1次選考会)への
出場権を獲得

また、今大会ベスト16以上の選手は、2023年2月19日に開催予定の「全日本シニア柔道体重別選手権大会」への出場権を獲得しました。

9月4日(日)に開催された「岐阜県民スポーツ大会柔道競技」にて羽島郡チーム(松波総合病院柔道部)が準優勝しました。



駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



ARアプリ COCOAR導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試ください!!



ダウンロード・詳しい使い方は
こちらから!(リンク先は病院HPです)



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711

<https://www.matsunami-hsp.or.jp/>



だい どう みやく べん きょう さく しょう

「大動脈弁狭窄症」を知っていますか？

加齢に伴い病状が進行することが多く、高齢の患者さんが発症しやすい病気です。
病気の概要や当院での治療についてご紹介します。

大動脈弁狭窄症とはどんな病気？

「大動脈弁狭窄症」とは、心臓の弁のひとつである大動脈弁がきちんと開かなくなる病気です。心臓には、三尖弁、肺動脈弁、僧帽弁、大動脈弁の4つの弁があります。そのひとつの大動脈弁は、左心室と大動脈の間にある弁で、肺で酸素が豊富に取り込まれた血液（動脈血）を全身に送り出す際の扉の役割を果たしています。

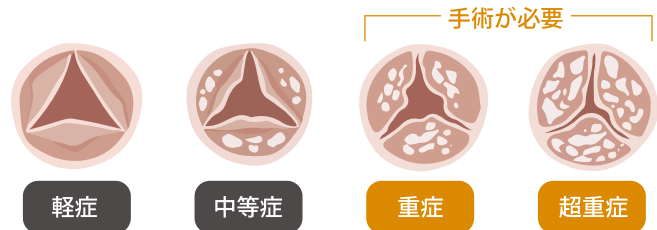
ところが、さまざまな原因で大動脈弁の動きが悪くなって、弁がきちんと開きづらくなると狭窄を引き起こし、左心室から大動脈に血液が送り出すことができなくなります。その結果、心臓に大きな負担がかかるようになり、進行すると心臓のポンプ機能が弱くなる心不全を引き起こします。これが「大動脈弁狭窄症」です。

弁自体が傷んで重症化した場合は、手術を行い、弁を根本的に治療する必要があります。【外科的治療】もしくは【カテーテル治療】が必要となります。

狭窄の原因

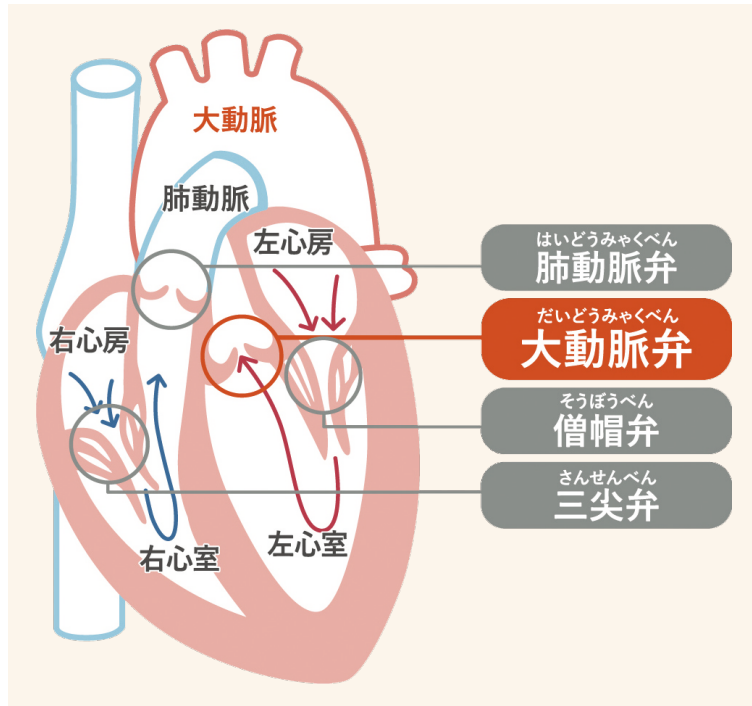
弁の扉の役割をしている弁尖が、石灰化したり肥厚したりすると、弁が硬くなります。そのほか、隣り合った弁尖同士が接着してしまうなど、さまざまな要因で正常に弁の開閉が行われなくなることで狭窄を引き起こします。

また、先天的に弁尖が2枚しかない方も狭窄になりやすい傾向にあり、若い方でも発症する恐れがあります。



症状

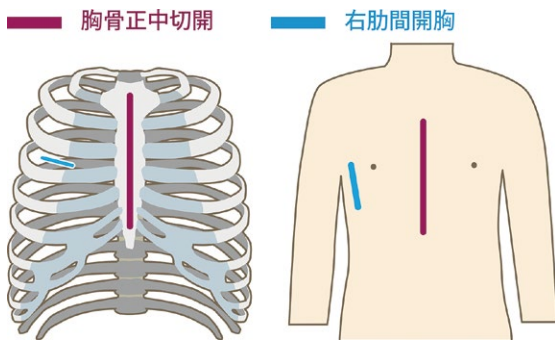
軽い日常動作で息切れが起こることや体のだるさ、胸の痛み、足のむくみなどの症状がみられるようになります。加齢による体の変化と混同しやすいため、**症状の進行に気づかない場合があります。**



外科的治療（開胸手術）

大動脈弁狭窄症の標準的な治療法です。胸部を開いて、一時的に心臓と肺の機能を代行する人工心肺装置を用い、人工心肺装置を用い、心臓を止めて大動脈を切開し、傷んでいる大動脈弁を摘出して人工弁を移植します（外科的大動脈弁置換術）。

胸部を開く方法には、胸の中央にある胸骨を切る方法「胸骨正中切開」と右胸の肋骨の間を切る方法「右肋間開胸」があります。



「経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)」実施施設として認定されました。

2022年9月より、経カテーテル的心臓弁治療関連学会協議会の定める基準を満たし、当院は、TAVI実施施設に認定されました。この認定により当院で経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の治療を行うことができます。

当院では、循環器内科「近藤 裕樹」医師、心臓血管外科「石田 成吏洋」医師を中心に、患者さんのご希望、身体状態に沿った適切な医療を提供してまいります。



カテーテル治療 TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)

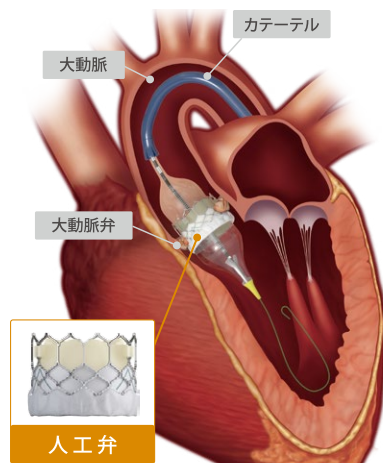
TAVI(Transcatheter Aortic Valve Implantation)は、大動脈弁狭窄症の新しい治療法です。機能が低下している大動脈弁をカテーテルと呼ばれる医療用の管を用いて、人工弁と置き換える手術です。治療の対象は、重症の大動脈弁狭窄症の方、身体的負担などの理由で開胸手術が困難と判断する高齢の方、一部の特殊な薬を内服している方などが対象者となります。

外科的治療を行う際に必要な胸部・心臓の切開や人工心肺装置使用の必要がなく、多くの場合は太ももの付け根の血管から弁を装着したカテーテルを挿入する「経大腿アプローチ」によって、人工弁を患者さんの心臓に留置します。

傷口が小さいことや人工心肺装置を使わないことで、**身体への負担が軽く、術後の回復も早いのが特徴です。**

経大腿アプローチの手順

- 1 人工弁を装着したカテーテルを、太ももの付け根の1cm弱の小さな穴から大腿動脈に入れて心臓まで運びます。
- 2 人工弁が大動脈弁の位置に達したら、バルーンを膨らませ、人工弁を広げて留置します。
- 3 留置した後は、カテーテルを抜き取ります。留置した直後から新たな弁として機能します。



大動脈弁狭窄症の治療に関するご相談は、循環器内科へ受診・お問合せください。

診療場所 まつなみ健康増進クリニック 2階

循環器内科
診療科ページ



循環器内科
診療担当表



担当医師プロフィール

循環器内科



循環器内科 副部長
近藤 裕樹
(こんどう ひろき)

専門分野

- ▶ 冠動脈・末梢動脈のカテーテル治療
- ▶ 弁膜症

資格

- ・日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会:認定医
- ・日本循環器学会:循環器専門医
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施基準管理委員会:実施医
- ・日本心不全学会・日本不整脈心電学会:植込み型除細動器／ペースティングによる心不全治療研修証

心臓血管外科



心臓血管外科 低侵襲心臓外科 部長
石田 成吏洋
(いしだ なりひろ)

専門分野

- ▶ 成人心臓・大動脈外科手術
- ▶ 低侵襲心臓手術

資格

- ・日本外科学会:外科認定医、専門医、指導医
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構:心臓血管外科専門医、修練指導医
- ・日本脈管学会:脈管専門医、研修指導医
- ・日本ステントグラフト実施基準管理委員会:腹部ステントグラフト実施医、腹部ステントグラフト指導医、胸部ステントグラフト実施医